

若鮎



桜木内中学校報 No. 20

令和8年9月17日(木)

学校教育目標

「元気・温もり・感動」を伝える桜木内中学校

小中合同防災教室

9月11日(金)、日本赤十字東北看護大学の先生をお招きし、桜木内小体育館を会場に防災教室が行われました。東日本大震災での辛い体験や、昨年の桜木内川氾濫の際のボランティア活動など、ご自身のエピソードを交えながら、防災の大切さについて教えてくださいました。強い使命感をもって支援に関わる先生の話に、皆引き込まれるように耳を傾けていました。

講話の中であった、「君たちは支援者になれる」「今度は若い君たちの番」という言葉に、桜小・桜中生に対する強い期待が込められていると感じました。起こってほしくはないけれど、万が一のとき、もしものとき、自分のため、誰かのためにきっと役に立つお話、体験だったと思います。

また、「みんなができること」として、「給食の配膳は炊き出しの練習になる」「掃除は衛生管理、病気予防になる」「あいさつは周りの人を元気にしてくれる」「困っている人がいたら、『大丈夫?何か手伝うよ』と声をかける」「家族と話し合う」ことなどが挙げられました。そして最後は、被災地で頑張っている方々へのビデオメッセージを撮影し、笑顔で防災教室を締めくくりました。

(裏面に、参加生徒の感想を掲載しています。)



清流祭に向けて【その3】 部門活動がスタートしました



9月14日(月)、部門別会議が行われ、次のように決まりました。

【表現活動部門】

<吹奏楽部> 部門長：M.Aさん 副部門長：F.Mさん

活動目標： 美響 ～Best sound & harmony～

<ステージ> 部門長：Y.Oさん 副部門長：I.Aさん

活動目標： ラストステージをかざるために、全員が全力で活動しよう

【スタッフ活動部門】

<展示> 部門長：K.Sさん 副部門長：Y.Aさん

活動目標：全員が自分の役割を果たし、

来てくださった方々が見たくなるような展示にしよう

<売店> 部門長：R.Aさん 副部門長：F.Mさん

活動目標：笑顔で丁寧な接客を心掛け、

地域に「元気・温もり・感動」を届けよう！

生徒全員、来てくださったお客様に喜んでいただくため、最高のおもてなしを目指して
気合い十分です。この後の仕上がりが楽しみです！

◎防災教室に参加した生徒の感想を紹介します。

3年

M.A さん

「ダンボールベッドとテントの作り方や、水がこぼれない袋の結び方がわかりました。実際に災害が起きてしまった場合は、地域の方の力になれるよう積極的に行動したいです。」

S.A さん

「及川さんの話を聞いて、新しく得た知識や学びなどがありました。避難生活の際、3週間お風呂に入ることができなかったと聞いてとても驚きました。ダンボールベッド作りやテント張りでは、小学生のサポートをしたり低学年の子と一緒に取り組んだりすることができました。班のみんなと楽しくできて良かったです。もし災害が起きたときに生かせるように忘れないでおきたいです。」

R.A さん

「一番心に残っていること、印象に残っていることは、及川さんが大きい地震を経験したときに3週間もお風呂に入れていなかったことです。もし私だったら、とても耐えきれないと思います。小学生と一緒につくったダンボールベッドとテントも楽しかったです。」

Y.O さん

「僕は実際に被災地でドロをかいったり、山鳩館でボランティアの人にかき氷を作ったりしたので、今日の教室の内容はとても勉強になりました。自分ができることを増やしていきたいです。」

F.M さん

「災害時のダンボールベッドとテントを初めて作りました。ペットボトルに穴を開けて手を洗ったりシャワーにしたりする方法を知ることができました。便利なので、試してみたいです。」

2年

I.A さん

「防災教室に参加して、災害はいつ起きるか分からないので、すぐ冷静に対応していこうと思いました。ダンボールやペットボトルなどの身近な物でも避難所での生活をよくすることが分かったので、災害が起きたときはお年寄りの方も助けていこうと思いました。」

Y.A さん

「防災教室でダンボールベッドやテント、ゴミ袋などを使った水の運び方を学びました。班のみんなと協力して組み立てることができて、実際に避難したときも自分から声を掛けたいと思いました。中学生だからできることを考えて行動したいです。」

R.A さん

「今日の防災教室の体験活動では、班の人と協力してダンボールベッド、テントを組み立てることができました。災害は、もしもではなく、いつでも起こる可能性があるので、災害が起きたらいつでも行動できるように、今日のことをしっかりと頭に入れておきたいです。」

K.S さん

「今日の防災教室では、改めて防災について考えることができました。もし災害が起きてしまったときには、今日やったことを思い出して困っている人に声をかけるなど、少しでも地域の役に立てるようにがんばりたいです。家族と防災について話し合っ、いつどんな災害が起きても大丈夫なようにしたいです。」

S.M さん

「防災教室を受けて、ダンボールベッド作りや、テントの作り方などが分かりました。もし、災害が起きた時は、防災教室で学んだことを思い出して、作りたいです。」